



埼玉県議会自由民主党議員団役員との懇談



無所属県民会議議員との懇談 埼玉県議会公明党議員団議員との懇談 日本共産党埼玉県議員団議員との懇談

**12/11
s
19** 県議会各会派との懇談会
子どもの貧困や地域での見守り活動などについて懇談しました

12月、生協への理解を深め、意見交換を行う場として、埼玉県議会4会派30人の県議会議員と懇談しました。



埼玉県マスコット「コナン」

写真ニュース

県内生協の活動を写真で伝える情報誌

2020
春号
No.74
(2020年4月発行)

Top News
2/12

第25回JA埼玉県女性組織協議会と埼玉県生協連の早春交流会
多様な視点に配慮した避難所運営について一緒に学び、交流しました



吉川尚彦会長理事より、生協の取り組みについて報告しました



大野知事よりごあいさついただきました

1/16 埼玉県生協連新春賀詞交換会
各界を代表する皆さんと懇親を深めました

出席者との懇談やネットワークづくりの場、会員生協への理解を広げ、生協の認知度をアップする場として、64人の皆さんの出席で開催し、大野元裕埼玉県知事をはじめ、各界を代表する皆さんにごあいさついただき、懇親を深めました。



2月7日上尾会場には11団体32人が参加しました

**1/20
s
2/10** 埼玉県委託事業
県内消費者団体地区別研修会
プラスチックごみの現状と自分に何ができるか考えました

県内4会場で「プラスチックごみの現状を学ぶ～持続可能な社会をこどもたちに～」と題して、(一社)JEANによる講演とワークショップを行い、のべ35団体100人が参加しました。深刻なプラスチックごみ問題は、海なし県に住む私たちの生活と決して無関係ではなく、一人ひとりが当事者であることがよくわかったとの声がありました。



防災・減災について、お話しいただきました



あいさつする埼玉県生協連常務理事 大久保美紀さん



JA埼玉県女性組織協議会会長 栗嶋美津江さん

講師からの投げかけに、グループごとに活発に意見交換しました

第25回早春交流会を、JA・生協連各23人、計46人の参加で開催しました。NPO法人男女共同参画おおた理事長 坂田静香さんを講師に「地域力を高めて安心・安全な避難所運営」と題してお話をお聞きし、女性の視点の大切さと自分たちの役割について考える機会となりました。



日頃の活動を活発に交流しました

1/17 助け合い活動交流会
地域で連携をとる声が出されました

地域で助け合い活動に関わる組合員・職員、3生協31人が参加し開催。互いの活動を交流し、生協の枠を越えて地域の中でつながりながら、地域の見守り活動を充実させていくことを目的に行いました。



根岸章王食品安全局長から日頃の取り組みを説明いただきました

1/31 埼玉県食品安全局と消費者団体の懇談会
埼玉県食品安全局の取り組みへの理解を深めました



消費者の理解を広げるために、リスクコミュニケーションを積み重ねていくことを願いました

埼玉県食品安全局と消費者団体の懇談会を、CSF(豚熱)について、HACCPに関する取り組みについて、埼玉県食品衛生監視指導計画についての3項目をテーマに開催しました。消費者団体9人、食品安全局から7人の参加で、食の安全・安心についての埼玉県の取り組みを理解する場となりました。

広がる県内生協の多彩な活動

生活クラブ生活協同組合

埼玉初! 生活クラブのお店 「デポー浦和」オープン

3月20日(金)、生活クラブ生協埼玉のお店「デポー」1号店が浦和の調(つき)神社前にオープンしました。1,000名の仲間づくりを目指して、昨年9月から組合員と事務局が力を合わせ、デポー市(プレイベント)、キャラバン(展示説明会)、戸別訪問、チラシまきなどの仲間づくりを行ってきました。オープン直前の3月は、毎日プレオープン(仮営業)して、一部販売や事前加入の受付、説明を行いました。



オープニングセレモニーの様子

12月プレイベントの様子

医療生協さいたま生活協同組合

地域の「困った」を「安心」につなげます



昨秋から、組合員が地域で直面している「困った」事例を地域別総代・支部代表者会議で寄せ合いました。集まった1100件の「困った」を、「外出・交通」「災害・犯罪」「つながり」「認知症」など、9つのカテゴリーに分類する作業が終わりました。今後は、「組合員どうしの助け合いでできることはあるか」「事業所でできることは何か」「生協間の連携でできることはあるか」など、組合員と職員がいっしょに検討し、地域で暮らす「安心」につなげていきます。

さいたま住宅生活協同組合

さらなる前進を目指して 「新春のつどい」開催



1月30日(木)、さいたま共済会館において「新春のつどい」を開催しました。住宅生協の総代、協力業者、県生協連をはじめとする関係する多くの来賓のみならずさいたま住宅生協の理事・職員が一堂に会し、親しく懇談しました。昨年埼玉に大きな被害をもたらした自然災害が今後も発生する可能性があること、日本の経済見通しも、消費税の増税によってかなりの影響があるのではないかなど、厳しい経済状況の中、心ひとつにして難局を乗り切ることを誓い合いました。

生活協同組合コープみらい

第7回 食品産業もったいない大賞 農林水産省食料産業局長賞受賞



塩川白良 農林水産省食料産業局長(右)と表彰状を受け取る
永井伸二郎 コープみらい副理事長

コープみらいが加盟するコープデリ連合会は、食べられるのに廃棄される食品=食品ロスを削減する「みらいにつなぐもったいない」の取り組みを、組合員や生産者などとともに進めています。傷やサイズ違いで規格外となる農産物の取り扱いやフードバンク等への食品寄贈などの取り組みが評価され、受賞しました。

*食品産業もったいない大賞とは

食品産業の持続可能な発展に向け顕著な実績を挙げている取り組みを世の中に広く周知することにより、食品産業全体での地球温暖化防止・省エネルギー対策及び食品ロス削減等を促進することを目的とした表彰制度
(主催:公益財団法人 食品等流通合理化促進機構)

生活協同組合パルシステム埼玉

「商品開発チーム 2019活動報告会」を開催



2月15日(土)、パルシステム連合会と会員生協9つの商品開発チーム・メーカーが協力して開発した商品の報告会が開催されました。

各チームから開発商品の発表を行い、コンセプトや開発の苦勞、工夫した点などを掲げ、おすすめ点をアピールしました。

パルシステム埼玉の商品開発チーム「Fish, Fish, Fish!」の活動テーマは「フライパンひとつでできる魚の主菜料理」。「めかじきの切身」などでおなじみの(株)城ヶ島水産と試行錯誤を繰り返しながら開発を進め、「フライパンで簡単!まぐろ漬カツ」が完成しました。

埼玉県労働者共済生活協同組合 (こくみん共済coop<全労済>)

第47回「小学生作品コンクール」を実施



埼玉県知事賞



「朝と夕方の送りむかえ」
戸田市立新曽北小学校5年
上田 菜々さん

こくみん共済coop
埼玉推進本部長賞



「かんしゅう用カラフルジャがいも」
川口市立戸塚陸奥小学校6年
宇宗田 美月さん

こくみん共済 coop <全労済>では、社会貢献活動の一環として子どもたちの豊かな心の成長を願い、1973年から小学生を対象に作文・版画のコンクールを開催し、今回で47回目を迎えました。埼玉県内の小学生から作文・版画の両部門あわせて607点の応募をいただき、埼玉県知事賞、こくみん共済 coop埼玉推進本部長賞をはじめとした各賞を選定しました。

なお、2月22日(土)に予定した表彰式は、新型コロナウイルスの影響を考慮して中止しました。

埼玉大学生生活協同組合

保護者のつどいを開催



2月29日(土)に埼玉大学生協学生委員会が「保護者のつどい」を開催しました。2月までに推薦・AO入試などで合格した新生生とその保護者35名が参加し、先輩学生より大学生活のアドバイスを受けました。学部別の分散会では、学部の先輩からの説明に対して、資格、就職についての質問なども多く出されました。学内の施設の紹介も行い、その後食堂で昼食体験をしていただきました。保護者の方は、普段、学生が食べているメニューが分かり、大変喜ばれていました。